

〔人倫訓蒙圖彙〕^六車作 車作は、輪木八枚、輻は廿四枚、雜車は輪木七枚、輻廿一枚なり、作手は、京清藏口久右衛門、

〔雍州府志〕^七車 凡造車者、所々有之、其内造禁裏院中之車時、預其事者、其會長號總司久右衛門、有家領五石餘、常住京北柳原、轅大工中井氏造之、所駕牛、仙納彌市兩家常飼之、糶載雜品物者、謂雜車、洛下三條橋西南、鳥羽橫大路造之、

〔翁草〕^{三十九}御車大工、昔は總司久太郎とて、車屋町丸太町上ル所に居ス、故ニ車屋町と號、今は久太郎は丹波へ引越、是が一族總司茂左衛門と云者、上京木の本町に居て御用を勤、且御車副に出る、

〔諸事留〕^三天保七^申年正月

御府内車大工職之者、年來拾八人ニ而申合、渡世相續致來候處、此度一同相談之上、爲冥加相州鎌倉火術御用車、無代ニ而差出申度願出候間、右ニ付差障有無取調候様、館市右衛門殿ニ而被申渡候間、御支配限車大工職之者御取調、差障有無御書取、來月七日迄ニ、清右衛門方江可被遣候、

正月廿六日

組合 肝煎

一御府内車大工職之者、年來拾八人ニ而申合、渡世相續致來候處、此度相談之上、爲冥加相州鎌倉火術御用車、無代ニ而差出申度願出候ニ付、差障有無御尋ニ御座候處、前書之趣、私儀一切差障無御座候、依之此段申上候、以上、

天保七^申年正月

本材木町四丁目

由兵衛店
車大工職 七兵衛

〔七十一番歌合〕^上五番 右 車作り

心して車つくらむ秋のよのながえの月のをそくめぐるは○中略